

(2) 土手の上から、川原や水の流れなど、全体をおおづかみにスケッチする。



① 水の流れがカーブする所で、川原の砂レキが、削られているのはどちら側か。

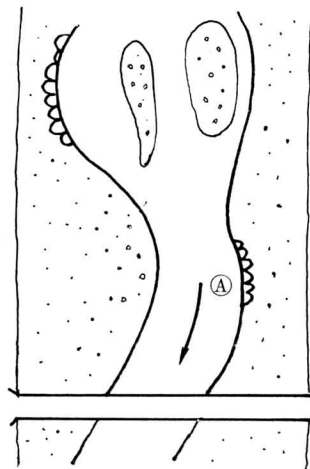
② また、レキや砂がつもって川原が広がるのは、どちら側か。

③ 水の流れがカーブしているA点付近で10mの距離をとり、流水の速さを調べる。

内側と外側で速さはどちらがうか。

④ A点で、カーブしている内側から外側に進むにつれて、深さはどのように変わるか。

⑤ 流水の速い所とおそいところで川底を水中メガネ（ガラス箱）でのぞいて見る。川底の砂や石の状態に、はっきりしたちがいがあるのがわかる。



(3) 川原のレキを調べる。

川原に立って、レキが平均してつもっている所をきめる。

① 川原に1m四方の方形枠を作る。

② 方形枠の中に入っている5cm以上の石をすべてとり出し、大きさによって5~10cm, 10~15cm, 15~20cmに分けその数を調べる。

③ 石の大きさに関係なく、石の形でまるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け数を調べる。

